

敬愛
創造
協力



町田三中だより

自分 相手 礼儀 時間 もの

「5つの大切」を心に 登校を楽しみにできる学校

町田市立町田第三中学校

第13号

2026年2月26日

町田三中

検索 



灯火

校長 鈴木 英 顕

「油断」という言葉を知っていると思います。この「油断」という言葉の語源は諸説ありますが、ここでは比叡山延暦寺の説でお話します。

比叡山の延暦寺根本中堂に、1200年前からずっと大切に守られている宝があります。それは延暦寺を開いた最澄が修行で使っていた炎の灯火（ともしび）で、その灯火を守るために菜種油が切れないように注ぎ、炎の芯が燃え尽きそうになると新しい芯に代える。そういった営みを1200年の間、永々と続けてきたそうです。

では、灯火は誰が、どのようにして、守り続けてきたのでしょうか。おそらく、大勢の灯火係を決めたり、お寺の中でその管理の仕方や役割がしっかりと確立されているのだらうと思いました。しかし、その答えがとても意外で、奥深いものでした。

係りとか役割を決めたら、何年かはうまく出来るかも知れない。しかし、役割を決めた瞬間に誰かの仕事というような甘えの心が芽生えて他人事（ひとごと）になってしまう。そこに失敗の原因が隠されている。だから比叡山では、誰も役割はもっていないそうです。気づいた人が油を足し、気づいた人が芯を代える。自分たちが命に代えて守らなければならない宝である灯火は、他人事ではなく自分事である。それは役割や係りの分担で行うものではない、ということです。油が切れたら灯火は消えてしまう。『油断』とは、心の中に迷いや怠慢が満ちて、当たり前のことができないことを意味し、「油断」という言葉は、比叡山の灯火を守ることから生まれた言葉だということです。

もちろん集団生活において、与えられた役割に責任をもつことは大切なことです。しかし、一方で役割を決めた瞬間に誰かの仕事になり、他人事になってしまう。他人事になってしまえば自分とは関係がなくなり、そのことに関心がなくなるというのも一理あります。

学校では、クラスや学年の役割、生徒会の一員としての役割、体育大会や合唱コンクールなど学校行事での役割など様々な役割があるのも事実です。しかしだからと言って、「自分には関係ない他人事」としたら、そこに進歩はありません。学校をよりよく、すべての人が気持ちよく過ごせる場所にするために、「自分がすべきこととは何か。自分達が守らなければならないこと、自分ができる仲間を大切にしている態度とはいったい何か」を、「自分たちの事」として考えることで、クラスや学年や学校が素敵な場所になります。関心をもつこと。自分の事として考えること。そうした人が増えることで、学校は居心地のよい場所になるということです。ひいては、こうした場所に所属する自分も、知らず知らずのうちに成長するのです。

あと1月もしないうちに、現在所属している学級、学年が終わろうとしています。最後まで油断せずに、「このクラスでよかった」「この学年に所属して幸せだった」と感じられるよう、しっかりと締めくくりましょう。クラスや学年、仲間と、心のつながりの灯火をずっと燃やし続けましょう。それが、居心地の良い空間（学校）になります。

いずれの写真も学校生活の一コマです。本文とは関係はありません。



三中の様子

定期考査 2月25日～27日

定期テストは学校の授業内容をベースに作られており、教科書や授業で扱った範囲を復習することで、基礎知識の定着を目指せます。また、定期テストの勉強を通じて、自分の理解度を確認することもできます。具体的な意義と目的は・・・

- ① **学習内容の定着と振り返り**: 授業で学んだ知識が身についているかを確認し、復習を通じて理解を深められます。
- ② **学習習慣の確立**: テスト期間という明確な目標に向けて、計画的に勉強する習慣や自己管理能力を養います。
- ③ **得意・苦手の把握**: 自分の弱点を自覚し、次の学習へ活かす目安になります。

④ **内申点(評価)への反映**: 定期テストの点数は通知表の5段階評価に大きく影響するため、高校入試でも重要です。

⑤ **受験に向けた基礎作り**: 中1、中2、中3前半の範囲が入試の大半を占めるため、毎回の定期テスト対策が実力向上に直接つながります。



定期考査に真剣に取り組む三中生



「誰ひとり取り残さない」授業

-三中は、先生も生徒も授業を大切にします-

町田第三中学校は、授業を大切にしています。学校ですから、当たり前のことです。しかし、全ての三中生にとって「興味と関心を持って」「楽しく」「分かりやすい」授業を実践することは決して簡単ではありません。むしろ、とても困難なことです。しかし、本校の授業では「誰一人取り残さない」ために、個別最適な授業について、「学び続ける力」を育むことをテーマに、2年間にわたって授業の研究を続けてまいりました。学習環境を整える、教育データを利活用する、UDの視点を取り入れる、など様々な工夫を考え、実践しては協議を重ね、改善を続けてきました。この授業研究は、新たな視点を加えて改めて来年度から2年間、町田市教育委員会の指定を受けて取り組みます。完璧な授業を実践することは容易ではありませんが、一歩でも近づける研究と実践をこれからも大切にします。下の資料は、授業ごとに立てる学習指導計画です。2月13日の研究授業のものを一部抜粋しました。

■特別支援を視野に入れた個別最適の指導 みどりが丘学級1年

- 特-1:特別支援学級 個々の特性を見極め、その場に応じた行動(聴く・話す)を視覚的に促す
- 特-2:ICTを活用し、個々のペースで学習する時間を設ける。[ChromeBOOK](#)を使い単語の読み取り練習や[Google フォーム](#)を使い振り返りを行う
- 特-3:ユニバーサルデザインを用いたワークシートを使用する。

(デジタル UD フォント使用・授業の流れとワークシートが一致している)
授業観察の視点(Ⅲ:個に寄り添った支援をする)★校内研修 授業参観シートより

- ① 子どもの言動に対して認める言葉を積極的に掛けている
- ② 「学習のねらい」の達成について、自己評価(振り返り)を行っている。
- ③ 教師が子どもを賞賛する場面を意図的に作っている(*PBSの視点より)

■特別支援を視野に入れた個別最適の指導 1年A組

- 1学習環境・生活環境を整える-①刺激量を減らす(机上、掲示物の整理、床に物が落ちていないか、机を整頓、カーテンを閉める) ④ルールや決まりを守る集団をつくる
- 2学習にひきつける -②視覚的な支援を行う ⑤一人一台端末を活用する ⑦全員が参加できる学習活動を設定する
- 3価値ある関わり合いをつくる-①学びあいの目的と方法を明確にする(考えを共有する) ④それぞれの良好な関係をつくる(活動の場を段階的に行う)
- 4集団の中で個に配慮する -①指導の個別化を図る(予め書く場所を提示しておく)



卓球部

町田市中学校卓球研修大会 2月14日(土)
【男子ダブルス】O.S.さん、H.Y.さん 第3位



バスケットボール部

町田市中学校バスケットボール1年生大会予選ブロック
2月23日(月) 予選2位通過

小学生訪問

2月9日(月)午後、学区域(本町田ひなた小、忠生第三小)の小学生が本校を訪問しました。体育館にて生徒会役員から中学校生活について説明をしました。三中に入学するみなさん、4月の入学を心待ちにしています。



3月のおもな予定



- 3月2日(月) 午前授業、都立一般入試合格発表
- 3月3日(火) 2年生ロボットコンテスト 3校時A組
他3/5(木)5校時B組、3/6(金)2校時D組、3校時C組 会場は第2技術室(体育館棟1階)で行います。保護者の皆様も参観できます。詳細はお問い合わせください。
- 3月4日(水) 午前授業、保護者会
- 3月5日(木) 常任委員会、3年いのちの授業
- 3月6日(金) 中央委員会、3年球技大会
- 3月9日(月) 午前授業(～3/25) 生徒会朝礼、安全指導
- 3月10日(火) ESAT-J(1、2年生)
- 3月13日(金) 卒業式予行練習、避難訓練
- 3月19日(木) 第58回卒業式



- 3月20日(金) 春分の日
- 3月23日(月) 1年球技大会、2年特別清掃
- 3月24日(火) 2年球技大会、1年特別清掃
- 3月25日(水) 修了式、離任式
- 3月26日(木) 春季休業(～4/5)
- 3月28日(土) 吹奏楽部定期演奏会
午前9時30分開場、10時開演、正午終演です。地域の方、小学生児童、園児のみなさんもぜひご鑑賞ください。詳細は、3月11日前後に本校HPにてお知らせします。
- 4月6日(月) 新学期始業式
- 4月8日(水) 第59回入学式

